

令和元年度 「全国学力・学習状況調査」結果および分析（成果と課題）

令和元年4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」（全国の小学6年生を対象）の結果をもとに分析しましたのでお知らせいたします。

※○は、良い点、▲は、課題点。

※「平均」は「平均正答率」の略です。

【国語】

	話す・聞く	書く	読む	伝統的	平均
本校	66.7	43.8	78.1	43.8	58.1
東京都	73.1	55.4	83.0	55.7	66.8
全国	72.3	54.5	81.7	53.5	65.5
全国と本校の差	-5.6	-10.7	-3.6	-9.7	-7.4

☆一覧表の「話す・聞く」は「話すこと・聞くこと」、「書く」は「書くこと」、「読む」は「読むこと」、「伝統的」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の略です。

○「読む」項目における「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む力」が平均を上回っていました。引き続き、物語文の学習では、物語を要約したり、説明文の学習では、内容の要旨をまとめたりできるように指導をしていきます。

▲全ての平均正答率が、全国・東京都を下回っています。

▲全項目において、正答率が平均を下回っています。基礎・基本の知識を身に付けさせるために、授業中のルールの徹底や家庭学習の充実を図ります。また、分かる授業の工夫に取り組んでいきます。

▲「書く」項目における「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」の項目の正答率が20%を下回っていました。自分の考えを目的に応じてまとめられるよう指導していきます。

▲無回答率が平均を上回っている問題が多くありました。特に、漢字の記述問題、自分の考えの理由を明確にしてまとめて書く問題において、無回答率が高い傾向にありました。授業の中では、学習の振り返りを必ず行い、自分なりの考えをまとめる活動を多く設定していきます。また、身に付けている力であきらめずに取り組める姿勢も育てていきます。

【算数】

	数と計算	量と測定	図形	数量関係	平均
本校	63.8	55.2	73.4	71.9	66.1
東京都	66.7	57.5	79.0	72.2	68.9
全国	63.2	52.9	76.7	68.3	65.3
全国と本校の差	-0.6	+2.3	-3.3	+3.6	-0.8

○「知識」を問う問題では、平均正答率が全国、東京都より上回っているものもありました。基礎・基本の知識を確実に身に付けさせるとともに、児童の身近なことから課題を見付け、解決したことを実生活にいかしていけるように指導を行っていきます。

○全国平均と比較すると、「数と計算」「量と測定」「数量関係」の項目で平均を上回っていました。今後も朝学習や家庭学習・自主学習などにベーシックドリル等を活用して、基礎・基本の定着を図っていきます。

▲「図形」の項目において、東京都平均、全国平均を下回っていました。

▲「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」や「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる」問題においては、正答率が50%を下回っていました。考えを文章でまとめたり説明したりすることが苦手です。授業の中で、自分の考えを言ったり書いたりすることの指導の一層の充実を図ります。

【質問紙】

(生活面)

- ・都の平均と比べ、自己肯定感の高い児童が多いことが分かりました。しかし、「将来の夢や目標をもっている」という回答が全国、東京都の平均を下回っていました。将来のことを考える機会が少ないのではないかと考えます。
- ・「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した児童は、75%でした。全国、東京都の平均をやや下回っています。
- ・「学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童は85%でした。友達との話し合いの大切さや有用感を感じているようです。
- ・「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う」と回答した児童は、81%で、全国、東京都の平均を大きく上回っていました。また、「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う」と回答した児童も90%と全国、東京都の平均を大きく上回っていました。外国への興味や外国の人とのつながりに関心をもっている児童が多くいることが分かりました。
- ・地域の行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたりしている児童が多くいることが分かりました。
- ・新聞を全く読んでいない児童は79%で、毎日読んでいる児童は3%でした。
- ・読書が好きな児童は75%でした。読書量は、たくさん読む児童とほとんど読書をしない児童との差が大きいことが分かりました。

(学習面)

- ・「国語の勉強は大切だと思う」という児童が100%でした。一方で、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、活用しようとしている」と回答した児童は81%でした。日常生活と国語の学習を結び付ける授業を工夫していきます。
- ・「算数の学習が好きである」と答えた児童は全国、東京都の平均を上回っていました。また、「わからない問題があると、諦めずにいろいろな方法を考える」という児童も、全国、東京都の平均を上回っていました。今後も、問題解決の楽しさを感じられるよう授業を工夫し、粘り強く問題に取り組む力を身に付けさせていきたいと考えます。
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という問いに対して、あてはまると回答した児童の平均は、全国、東京都の平均を上回っていました。一方で、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中でできないか考えますか」という問いに対して、あてはまると回答した児童は33%であり、全国、東京都の平均を下回っていました。算数で学習したことが普段の生活に生かせるように授業内容を工夫したり、普段の生活と結び付けたりしながら、児童が、算数の学習の有用感を感じられるようにしていきます。
- ・「算数の学習が好きである」と答えた児童は全国、東京都の平均を上回っていました。また、「わからない問題があると、諦めずにいろいろな方法を考える」という児童も、全国、東京都の平均を上回っていました。今後も、問題解決の楽しさを感じられるよう授業を工夫し、粘り強く問題に取り組む力を身に付けさせていきたいと考えます。